Campus Mail
For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
この件のお問い合わせは広報課へ
TEL ：092-606-0607
MAIL：kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2026-147
11 月 6 日～11 月 26 日

第 45 回 FD Café 「多様な価値観と向き合う学びの場づくり」を開催しました

9 月 29 日（火）、第 45 回 FD Café「多様な価値観と向き合う学びの場づくり」を開催し、教員 7 名、職員 7 名、学生 12 名の計 26 名が参加しました。本研修は、ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への理解を深めるとともに、教職員と学生が立場や世代を超えて対話し、より良い学びの環境づくりについて考えることを目的として実施されました。

講師には、合同会社ヨハクデザイン代表で一般社団法人 Work Design Lab パートナーの西田明紀氏を迎え、「多様な価値観と向き合う学びの場づくり」をテーマに講演いただきました。西田氏は、企業や大学、地域支援組織、自治体など多様な分野で活躍されており、自身の豊富な経験をもとに、異なる価値観を持つ人々と協働する上で重要となる考え方やコミュニケーションのあり方について紹介しました。



合同会社ヨハクデザイン 代表 西田 明紀氏



講演では、私たち一人ひとりが持つアンコンシャス・バイアスが人との関わり方に影響を与えることや、他者を固定的なイメージで捉えず、多面的に理解しようとする姿勢の重要性が語られました。また、「それも私。でも、それだけじゃない。」という言葉を通して、人は誰もがさまざまな側面を持つ存在であり、そのことを理解しながら対話を重ねることが相互理解や協働につながると説明されました。

その後のグループワークでは、多様な価値観や世代間の考え方の違いをテーマに活発な意見交換が行われました。参加した学生からは、「世代による価値観の違いや新たな視点を知ることができた」「さまざまな意見に触れ、自分の視野が広がった」といった声が寄せられました。また教員からも、「学生への D&I 教育の参考になった」「無意識の思い込みについて改めて考える機会となった」といった感想が聞かれました。

総括では前田教育開発推進機構長（副学長）が、大学には多様な価値観に触れる機会を提供し、異なる考え方を受け止めながら共通点や合意点を見いだす力を育む役割があると述べました。本研修は、多様性への理解を深めるとともに、対話を通じて互いを尊重する姿勢の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。







前田教育開発推進機構長（副学長）

※本件の詳細は https://oped.fit.ac.jp/news/189/detail をご参照ください。